

カキ生育情報

千葉県
平成22年11月号

【10月の気象】

平均気温は平年に比べ、第6半旬は2.3低かったが、第1半旬は平年並、第2～5半旬は0.4～2.3高く推移した。月平均気温は18.2で平年より0.3高かった。また、最高気温は月平均が22.2、最低気温は月平均が15.1で推移し、平年に比べそれぞれ0.2、0.9高かった。

降水量は平年に比べ、第2、第6半旬を除く4半旬では少なかったが、第2及び第6半旬は著しく多かった。特に第2半旬では207mmと多く、平年の3倍近い降水量であった。月合計は404mmで、平年に比べ60%（151mm）多かった。

日照時間は平年に比べ、第1、第3半旬は多かったが、他の4半旬で少なかった。月合計は90時間で、平年に比べ34%（47時間）少なかった。

表1 平成22年10月の気象(暖地園芸研究所)

月	半旬	平均気温		最高気温		最低気温		降水量 mm		日照時間 hr	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
	1	20.4	20.4	25.5	24.3	16.5	16.9	25	40	26	20
	2	19.9	18.8	24.0	22.4	17.1	15.4	207	72	19	20
10	3	20.9	18.6	25.5	22.7	17.7	14.9	20	33	24	21
月	4	18.4	17.8	21.6	21.9	15.8	14.0	3	43	6	22
	5	16.8	16.4	20.6	20.8	13.4	12.4	27	32	9	24
	6	13.7	16.0	17.1	20.5	10.9	11.8	123	32	6	29
合計/平均		18.2	17.9	22.2	22.0	15.1	14.1	404	253	90	137

【樹及び果実の生育】

暖地園芸研究所では、果実の大きさは平年に比べ、松本早生富有ではやや小さく、富有では小さくなっている。いずれの品種も着色はやや遅れていたが、収穫期はほぼ平年並と予想される。収穫前にへたすきの発生が多く、炭疽病の発生がやや多いことから、炭疽病が原因で樹上軟化する果実も多くなっている。収穫始めは、松本早生富有では10月12日で平年より1日、前年より7日早く、富有では10月25日で平年より3日、前年より2日早かった。

市原市の松本早生富有では、果実の大きさは前年よりやや小さくなっている。10月末現在、収穫は25～30%程度終了している。病害虫では、カキノヘタムシガの発生が見られた。

表2 果実の発育(平成22年10月30日)

品種	調査地	横径 cm			縦径 cm			果形指数 ¹⁾		
		本年	前年	平年 ²⁾	本年	前年	平年	本年	前年	平年
松本早生	市原市	7.6	-	-	5.1	-	-	1.49	-	-
富有	暖地園研	7.9	8.0	8.3	5.8	5.8	5.9	1.34	1.38	1.40
富有	暖地園研	7.5	8.1	8.3	5.9	6.2	6.2	1.28	1.31	1.34

注 1) 果形指数 = 横径 / 縦径 .

2) 平年値は暖地園芸研究所における平成2年から20年間の平均値 .

3) 松本早生富有、富有の暖地園芸研究所の数値は10月に収穫した果実を含む .

【11～12月の作業の要点】

施肥

基肥の施用時期である。土壌中での肥料の分解や浸透を促すため、地温があまり下がらない年内に行う。西村早生では11月下旬～12月上旬に、松本早生富有、富有では12月上旬までに行いたい。肥料の効果が生育期に安定して現れるよう、有機質肥料や有機配合などを主体に、全量を全面散布する。

施用量は、年間施用量の70%程度とする。基肥の10a当たり標準施用量は、成分量で窒素、りん酸、加里とも西村早生では各10kg、松本早生富有、富有では各12kgを目安とするが、肥沃地や樹勢の強い園では、これより控える。

病害虫防除

カキノヘタムシガや枝幹害虫類の発生が多い園では、幼虫を捕殺するため、落葉直後に粗皮削りを行い、中に潜んでいる幼虫を殺す。粗皮削り後は枝幹保護剤を塗布するとよい。また、落葉病やうどんこ病の伝染源を除去するため、落葉は集めて園外へ持ち出すなどして処分する。害虫の発生が少ない園では、12月以降(休眠期)でよい。これらの防除は、千葉県農作物病害虫雑草防除指針に基づいて行う。

《生育情報の問い合わせ先》

千葉県農林総合研究センター暖地園芸研究所 果樹・環境研究室 TEL 0470-22-2961

果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生産者向け情報」でもご覧いただけます。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/nousui/nourinsuisan/nourinsuisan.html>